

石川県における麻疹発生に伴う、富山県からのお願い

このたび、石川県で4例目の麻疹（はしか）と診断された患者が発生しました。現在のところ、富山県内における麻疹患者の報告はありませんが、今後、感染の拡大を抑え、周囲への影響を最小限にするため、下記事項についてご留意いただきたく、お願いいたします。

1. 石川県内での患者発生状況（金沢市保健所発表の報道資料から抜粋）

- ・第1例目 4月10日診断 金沢市在住の30代男性 インドから帰国後に麻疹を発症
- ・第2例目 4月22日診断 金沢市在住の40代女性 第1例目と同じ小学校の入学式に参列
- ・第3例目 4月24日診断 津幡町在住の30代男性 ”
- ・第4例目 4月24日診断 小松市在住の10代女性 第1例目の訪問先（写真館）において勤務

2. 感染の拡大防止のためのお願い

(1) 麻疹の症状と感染力

- ①麻疹の感染経路には、空気感染、飛沫感染及び接触感染があり、極めて感染力が強いことが知られています。
- ②初期症状は、発熱や咳・鼻水などの風邪症状や、目の充血、関節痛など様々な症状が出ます。一旦熱が下がった後、再び高熱が出ると同時に全身に発疹が出現し、4～5日高熱が続きます。
- ③潜伏期は10日～12日程度。合併症がない限り、7～10日程で回復で回復します。
- ④上記の風邪症状が出現する1日前から解熱後3日後程の期間は、他人にうつす可能性があります。

(2) 麻疹を疑う症状があり、医療機関を受診する場合の注意

医療機関を受診する際には、あらかじめ電話で麻疹の可能性あることを伝え、医療機関の指示に従って受診してください。その際、公共交通機関の利用を避けて、自家用車等で受診してください。

3. 麻疹の予防接種歴についてご確認ください。

- ・平成2年4月2日以降生まれの方は、予防接種法の改正により、麻疹の予防接種を2回受ける機会があり、感染の可能は低いと考えられますが、今一度、母子手帳で2回接種が済んでいるかご確認ください。
- ・平成2年4月1日以前生まれの方は、幼児期に1回予防接種を受けてから相当の年月が経過していますので、十分な免疫がない可能性があります。医療機関にご相談の上、ワクチン接種をお勧めします。

4. ご不明な点やお問合せ等がありましたら、最寄りの厚生センター・支所、富山市保健所、県健康課 感染症・疾病対策班まで、お問合せください。

○麻疹に関する情報については下記のホームページをご覧ください。

- ・国立感染症研究所 <http://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>
- ・富山県感染症情報センター <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/sokuhou/2017/kansen1713.pdf>
- ・富山県医師会 <http://www.toyama.med.or.jp/wp/?p=16200>

※ 報道機関の皆様には、麻疹の予防及び感染拡大防止のため、県民の方々に対する注意喚起に格段の御協力をお願いいたします。